

Library News



京教図書館 News

2004

5

トピックス

★ 図書館ツアー、5月も開催 ★ 図書の購入について

■ 私のすすめるこの1冊・・・森山卓郎（国文学科 教授）

『表現を味わうための日本語文法』

「私のすすめる一冊」・・・実に、むずかしい。さっきから困ってますねん。いろいろあるけど、そもそも読書は読者と著者の共同行為。読者によって、生きたり死んだりする。例えば、前号で紹介されてたソシユール『一般言語学講義』は、確かに超重要な本やし、面白い。でも、正直言うと、僕が大学1回生のころ読んでみたときは、ようわからなかった。なんや、そんなん当たり前やん、という程度の理解しかでけんかった（ソシユールさん、すんまへん）。まあ、本との出会いなんていうのは、所詮そんなものやないか、とも思う。人それぞれのレディネスちゅうやつですわな。それに、どの本でも、その「流れの中での位置」というものがある。その意味で、ある本を本当に「読む」のなら「一冊」だけでは済まんことが多い。「面白い一冊」に出会うには、出会うまでの準備とちょっとした努力が必要なんですわ。「面白くない数多の本」なんかも含めて。

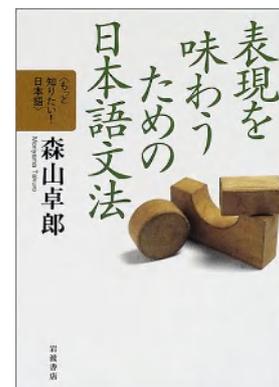
それで、まず、僕が学生のみなさんに奨めたいと思うんは、概説書の類です。概説書かいな、言うてばかにしたらあきまへん。概説書というんは、いろんなことを一通りわかりやすくまとめるように期待されている本や。書いてみたらようわかるけど、なかなかそれなりの労力も要るもんや。学生時代に一通りの知識を得るには、ほんま便利な知識の宝庫なんです。学生時代は、いろんな分野にある程度「きちんと首をつっこんでみておく」べき時期や。授業関係も含めてとにかくいろんな分野の概説書を自分なりにきちんと読んでごらん、絶対有意義やと思う。土台づくりやから、考えながらくり返して読んだり、同じ分野のを複数読むことも必要やで。最初はわからんでも、だんだん知識の構造化ができていくもんや。それから、芋づる式により深い専門書に入っていったらええし、批判的に読んでいったらええ。しかし、まず土台がなかったら、なかなかそこまで行けんもんや。

さて、「一冊」挙げんとあかんのやったな。おっと、もう無いがな、書くところ。困ったなあ。『表現を味わうための日本語文法』（岩波書店）はどうですか？え？自分の本を奨めるのは禁じ手やて？知らなんだがな～。まあ、この本も受けとめてやっておくれやす。

著者：森山卓郎 出版社：岩波書店 出版年：2002年 定価：1,575円

ISBN：4000068229 配置場所：図書館1階 815/MO73

図書館にあります。



■ 図書館のニュース

1. 図書館ツアー、5月も開催します。

引き続き、5月も図書館ツアーを開催します。4月に参加できなかった方は、是非ご参加ください。いずれの回も申込みは必要ありません。参加希望の方は、直接集合場所にお越しください。

図書館ツアー(1)

所蔵資料の探し方 (OPAC 入門) 5月 12日 (水) ~ 14日 (金)

図書館ツアー(2)

文献検索・収集法入門 5月 19日 (水) ~ 21日 (金)、24日 (月)、27日 (木)

いずれも、図書館カウンター前 12:40集合 (13:05終了予定)

(注意:開催時間を変更しています。)

2. 自動貸出返却装置を設置しました!

自動貸出返却装置をカウンター左端に設置しました。

ご自身で図書の貸出・返却手続きができます。

使い方は簡単です。どうぞご利用ください!!



自動貸出返却装置

3. 『解体新書』特別展、盛況のうち終了

杉田玄白らによる『解体新書』全5巻 [安永3年(1774年)の刊記] を3月21日(日)から4月10日(土)まで特別展として一般公開しました。

本学の学生はもとより、地域の児童・生徒及び一般利用者を対象とした特別展で、地域住民等665名が学内外から鑑賞に訪れ、盛況のうちを終了しました。

また、4月4日(日)には、ふれあい伏見フェスタの企画として、本学講義棟で講演会「解体新書のふしぎ」が開催され、多数の参加者を集めました。

ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

講演会「解体新書のふしぎ」のようす



4. 図書の購入について（大学教員の皆様へ）

法人化に伴い、図書購入手続きが一部変更となりました。

詳細は、「平成16年度図書受入について」（平成16年4月16日付け）によりお知らせしていますが、主な点は下記のとおりです。

1. 財務会計システムのweb発注機能は使用しませんので注意願います。

図書購入手続きにつきましては、従来どおり伝票を使用して事務をおこないます。伝票の様式は、これまでの「物品請求書」から、「購入依頼書」（1種類1枚）に変更いたしました。

2. 研究室備え付け資料の図書資産と消耗品の分類基準が変更になりました。

従来の備品図書と消耗品図書は、経理的な都合によりそれぞれ、図書（資産）と消耗品（費用）となりました。

また、これまで本体価格1冊1,500円以上であるため備品図書としていた資料につきましては、金額基準を見直して引き上げ、これからは概ね取得価格10,000円以上を図書（資産）とすることにしました。（法人会計基準により1年未満の利用はすべて消耗品とするなど、使用期間及び用途により、一部該当しない場合があります。）

なお、図書館内の蔵書の分類基準については、ほぼ変更ありません。

* ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせ願います。

附属図書館総務係 TEL:075-644-8176(内 8550) e-mail: tosomu@kyokyo-u.ac.jp

■ 論のくちび理のむすび・・・井上文夫（体育学科 教授）

（本学の先生方が執筆された論文や著書を自らご紹介いただくコーナーです。毎号掲載予定。）

「京都府下における児童生徒の肥満・やせ頻度について」

井上文夫、藤原寛、木崎善郎、衣笠昭彦、白木文代、浅野弘明：京都教育大学紀要 No.104: 93-104, 2004

わが国の肥満児の頻度は増加の一途をたどっていますが、地域差があることも知られています。その地域差の要因を明らかにするため京都府下を12保健所の管区に分けて、肥満頻度およびやせ頻度を求め、いろいろな要因との関連について検討しました。各地域の肥満頻度およびやせ頻度と地理的、経済的データとの関連では、中学男子の肥満頻度が高い地域ほど地域面積が狭いという結果が得られた他は明らかな関連はみられませんでした。

今回の調査で肥満、やせとも頻度の低かった周山保健所管区では、かつては肥満児が多く、肥満指導に積極的に取り組んだ地域であったことから、保健所の介入や学校での健康教育が肥満防止に有効である可能性が考えられました。

■ 図書館開館スケジュール

(通 常)

開館時間 : 9:00

閉館時間 : 21:00

一部期間は17:00に閉館します。
下記カレンダー「~17:00」記載

2004 **5** 平成16年

日	SUN	月	MON	火	TUE	水	WED	木	THU	金	FRI	土	SAT
												1	
												休館	
2		3	祝	4	祝	5	祝	6		7		8	
休館	休館	休館	休館									~17:00	
9		10		11		12		13		14		15	
休館												~17:00	
16		17		18		19		20		21		22	
休館												~17:00	
23		24		25		26	整	27		28		29	
休館					休館							~17:00	
30		31											
休館													

5 / 2 6 (水) は、館内整理のため休館します。

2004 **6** 平成16年

日	SUN	月	MON	火	TUE	水	WED	木	THU	金	FRI	土	SAT
				1	創	2		3		4		5	
				休館								~17:00	
6		7		8		9		10		11		12	
休館												~17:00	
13		14		15		16		17		18		19	
休館												~17:00	
20		21		22		23	整	24		25		26	
休館						休館						~17:00	
27		28		29		30							
休館													

6 / 1 (火) は、創立記念日のため休館します。
6 / 2 3 (水) は、館内整理のため休館します。

■ これからの予定

附属図書館ミニ展示企画 「図書で見る京都教育大学の歩み」について

本学は、この4月に国立大学法人として新たな歩みをはじめました。
明治9年、京都府師範学校として創立されて以来の歩みの一端を、当館所蔵資料で
辿っていきます。

展示期間：平成16年5月7日(金)～平成16年6月4日(金)

京教図書館 News No.44 2004年5月号

編集発行：京都教育大学附属図書館

発行日：平成16年5月6日

内容に関するお問い合わせ先：

附属図書館 (内線8176)



京都教育大学

